

「鶴川河口オオハンゴンソウ（特定外来生物）防除」を行いました

8月6日（土）、鶴川左岸のむかわ町汐見地先において、地域住民と協働作業によるオオハンゴンソウ防除を行いました。

協働作業による防除は、平成23年から実施しており、今年で12年目を迎えました。鶴川河口の特徴的で自然豊かな環境と自然景観を維持するため、干潟及びその周辺の湿地への特定外来生物オオハンゴンソウの侵入・定着を防止することを目的としています。

地元むかわ町や地域で活動する、河川協力団体「ネイチャー研究会inむかわ」の協力のほか、室蘭開発建設部職員・室蘭開建調査受注者も含め21名の参加がありました。

最初に、オオハンゴンソウの本数や高さを計測したところ、前年度よりも生育本数、高さとも若干の減少の兆候が見られました。その後、参加者全員で防除作業を行いました。

室蘭開発建設部では、鶴川河口域の良好な自然環境の保全に向けて、地域の皆さまと協働で活動に取り組んでいます。

実施位置（鶴川河口左岸）



これまでの取組み状況や生態の説明



オオハンゴンソウ防除の様子



オオハンゴンソウ防除（抜き取り）成果物